

翌日死亡) 發生し争議團の態度を極度に尖鋭化せしめるに至つたのである。

2、一部解決

争議に参加したる潤野坑に在りては九日會社側との交渉決裂するや直ちに協議會を働き經道を報告し弱策を協議する處あつたのであるが同日坑長佐藤松之丞より會見懇談の申込ありたる爲中央に派遣せる代表二名を歸坑せしめ更に協議の結果代表十名が翌十日午前十時中央と手を切り独自の立場を以て坑長と會見し折衝したる處左の條件にて一應の解決を見るに至つたのである。

1、平均賃金貳圓貳拾錢に達せざる者は平均賃金を引上げる

3、労働組合の策動

地元所在の日本石炭坑夫組合、九州鑛山坑夫組合、益評九州地方評議會統製支部、日本西部産業労働組合統製聯合會等に在りては應援指導をなすべく夫々策動したる模様なるも争議團は飽くまで第三者の介入を許さず結束を固めつつある爲目下の所何等の連絡も認められず、僅かに西部産業労働組合、九州鑛山坑夫組合が左の通演説會を準備したののみである。

1、二月十一日 自午後六時

日鐵二瀬鐵業所糾弾演説會

主催 日本西部産業労働組合統製聯合會

場所 嘉穂郡鑛西村潤野

参加者 約二五〇名(内坑夫約一〇〇名)

2、二月十二日 自午後六時